

JCMA 報告

平成 25 年度 建設機械施工技術検定試験 結果報告

試験部

1. はじめに

建設機械施工技術検定試験は、建設工事の機械施工に従事する技術者の技術の向上を図ることを目的として行われ、建設業法第 27 条に定める技術検定制度に基づいて、国土交通大臣指定試験機関として当協会が実施している。

この試験は、建設機械運転技術者の操作技能のみを対象とするものではなく、建設工事の機械化施工に必要な土木技術、建設機械の管理技術、さらに、こうした技術の熟練度と応用力を兼ね備えた施工技術者を対象としている。さらに 1 級（工事現場における建設機械運転技術者の指導監督的な職務に従事する者を対象）及び 2 級（主として熟練度の高い技術者を対象）に分けて試験が行われる。

原則、学科試験の合格者について実地試験を行い、それに合格すると、所定の手続きにより国土交通大臣から建設機械施工技術検定合格証明書が交付され、「1 級又は 2 級建設機械施工技士」と称することが認められるとともに、建設業の許可に必要な有資格者となり、なおかつ、施工現場における監理技術者（1 級に限る）又は主任技術者（1 級・2 級）としての資格が与えられる。

2. 試験実施状況

平成 25 年度については、6 月 16 日（日）に学科試験（全国 10 地区 10 会場）、8 月 22 日（木）から 9 月 10 日（日）の間に実地試験（全国 10 地区 13 会場）を行い、12 月 6 日（金）に実地試験の合格発表を行った。

全国での学科試験及び実地試験の 1 級と 2 級の受検

表—1 学科試験及び実地試験の合格状況

試験区分		級別	1 級	2 級
学科試験	受検者（人）		3,203	7,325
	合格者（人）		1,150	4,241
	合格率（%）		35.9	57.9
実地試験	受検者※（人）		1,277	4,503
	合格者（人）		1,111	3,945
	合格率（%）		87.0	87.6

注）※印の受検者には、学科試験免除者のうち、実地試験の受検申請をした者の人数を含みます。

「2 級」の人数は、2 種別受検した者を 2 人と計算した場合のべ人数です。

者と合格者等は、表—1 のとおりであり、最終合格率は 1 級が 33%、2 級が 52%である。

（1）学科試験結果

1 級の学科試験は、土木工学、建設機械原動機、石油燃料、潤滑剤、建設機械、建設機械施工法、法規について一般的な知識を問う択一式と記述式による試験を行う。

2 級の学科試験は、各種別の建設機械について、それぞれ土木工学、建設機械原動機、石油燃料、潤滑剤、建設機械、建設機械施工法、法規についての概略の知識及び一般的な知識を問う択一式による試験を行う。試験種別は下記のように、第 1 種から第 6 種に細分している。

- ・第 1 種；トラクタ系建設機械・施工法
- ・第 2 種；ショベル系建設機械・施工法
- ・第 3 種；モータグレーダ・施工法
- ・第 4 種；締め固め建設機械・施工法
- ・第 5 種；ほ装用建設機械・施工法

表—2 2 級の種別ごとの 2 級の学科試験結果

区分	受検者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）
第 1 種	789	430	54.5
第 2 種	5,721	3,487	61.0
第 3 種	144	74	51.4
第 4 種	498	164	32.9
第 5 種	92	32	34.8
第 6 種	81	54	66.7
合 計	7,325	4,241	57.9

- ・第 6 種；基礎工事用建設機械・施工法

2 級の学科試験の種別ごとの受検者及び合格者（のべ人数）の内訳は、表—2 のとおりである。

表—3 地区別ごとの実地試験結果

地区名	1 級					2 級				
	受検者 (人) (%)		合格者 (人) (%)		合格率 (%)	受検者 (人) (%)		合格者 (人) (%)		合格率 (%)
北海道	75	5.9	71	6.4	94.7	404	8.9	379	9.6	93.8
東北	127	9.9	113	10.2	89.0	621	13.8	547	13.8	88.1
関東	221	17.4	191	17.2	86.4	785	17.4	654	16.5	83.3
北陸	88	6.9	70	6.3	79.5	360	8.0	312	7.9	86.7
中部	123	9.6	102	9.2	82.9	376	8.4	326	8.3	86.7
関西	210	16.4	189	17.0	90.0	712	15.8	576	14.6	80.9
中国	83	6.5	78	7.0	94.0	241	5.4	228	5.8	94.6
四国	78	6.1	68	6.1	87.2	284	6.3	263	6.7	92.6
九州	203	15.9	172	15.5	84.7	635	14.1	582	14.8	91.7
沖縄	69	5.4	57	5.1	82.6	85	1.9	78	2.0	91.8
合計	1,277	100.0	1,111	100.0	87.0	4,503	100.0	3,945	100.0	87.6

注)「2級」の人数は、2種別受検した者を2人と計算した場合ののべ人数です。

表—4 受検資格(学歴)別ごとの実地試験結果

受検資格区分 (学歴)	1 級				2 級			
	申込者 (人) (%)		実地合格者 (人) (%)		申込者 (人) (%)		実地合格者 (人) (%)	
大学	217	16.9	163	14.7	355	8.4	266	7.2
短大, 高等専門学校	70	5.4	59	5.3	115	2.7	92	2.5
高等学校	696	54.0	610	54.9	2,262	53.7	2,010	54.8
上記以外	306	23.7	279	25.1	1,483	35.2	1,301	35.5
合計	1,289	100.0	1,111	100.0	4,215	100.0	3,669	100.0

注) ① 1級・2級の申込者の人数は、学科試験受検申請者に学科試験免除者のうち実地試験の受検申請をした者を加えた人数です。

②この表は、人単位に計算した人数です。

表—5 2級の種別ごとの実地試験結果

区分	受検者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第1種	492	357	72.6
第2種	3,673	3,287	89.5
第3種	75	60	80.0
第4種	174	156	89.7
第5種	35	32	91.4
第6種	54	53	98.1
合 計	4,503	3,945	87.6

(2) 実地試験結果

1級の実地試験は、記述式試験(「建設機械組合せ施工法」と実技試験を行う。

記述式試験は、学科試験と同日の6月16日(日)に実施し、実技試験は、上記の2級の第1種から第6種の建設機械操作施工法より2科目を選択し、所定のコース内での操作施工による試験を行う。

2級の実地試験は、上記の6種別の内から受検種別ごとに、所定のコース内での操作施工による試験を行

う。

地区別と受検資格(学歴)別ごとの1級・2級の実地試験の結果を表—3, 4に示す。

また、2級の実地試験の種別ごとの受検者及び合格者数(のべ人数)の内訳は、表—5のとおりである。

3. おわりに

平成26年度の建設機械施工技術検定試験の実施予定は、平成25年12月25日に官報に掲載され、当協会のホームページにも掲載している。受検申込み用紙など(「受験の手引」一式)を当協会等で平成26年2月3日(月)から販売し、3月7日(金)から4月4日(金)まで受検申込みを受付け(郵送のみ)、6月15日(日)に学科試験(全国10地区10会場)、8月下旬から9月中旬に実地試験(全国10地区14会場)を行う予定である。